

七勇碑の命日 77回忌清掃供養

七勇碑は、77年前の11月27日若い海軍兵七名が搭乗した戦闘機が悪天候に見舞われ、この地に墜落し戦地に赴く前ここで殉職された場所に建てられた碑である。この碑を船橋支部北部地区に在籍する会員有志が午前9時現地に集合し、77回忌清掃供養を行った。作業統括の門脇副支部長から作業開始前の朝礼に先立ち、部外か船橋支部の作業に木村二和・咲が丘分会長を通じて参加申し込みのあった桜井克巳氏と日下勝氏の二名の紹介がありました。

桜井克巳氏は八千代市民で自衛隊の募集に長年協力され「八千代市募集相談員」で現役時代は船橋市消防職員でした。10月7日の千葉県護国神社秋季例大祭前の清掃奉仕に参加された時、木村分会長から七勇碑の清掃供養の話聞き参加された。

日下勝氏は元海上自衛隊員で大型対潜哨戒機P2V-7やP2J、P3-Cの機長として1万5千時間の飛行経験を有する操縦士で、退官後は千葉県海上自衛隊OB会に入会され、現在副会長として現役隊員を側面から支援されております。11月8日柏市で開催された千葉県海自OB会秋季懇親会の席で同会員の木村分会長から七勇碑の話聞き参加された。

又、「くれぐれも怪我の無いよう細心の注意を払って作業に臨む事」との言葉で朝礼を終了し作業を開始。支部会員の参加者は草刈り機を持参された最長老の河野正信小室・豊富分会長、手鎌持参は年齢順に丸山光則北部理事、羽田行雄大穴分会長、二和・咲が丘分会から佐野道夫氏、数藤忠彦氏、木村義忠氏、長内力氏の四名、門脇副支部長を加えて八名、それに部外から二名で総勢十名。草刈清掃作業10時40分無事終了、全員が線香をあげ供養した。(木村義忠氏)

昭和17年(1942年)11月27日第702海軍航空所属一式陸上攻撃機は木更津基地において飛行訓練中のところ、天候急変により豪雨、落雷に遭い、(旧地名千葉県豊富村大穴・現地名・船橋市大穴)の雑木林に墜落炎上しました。当時、戦時下の為、遭難事故は、即、軍命令により「極秘」とされ、報道関係は一切禁じられました。その数日後、木更津基地において各遺族一名の参列者で簡素な慰霊祭を執り行われたそうです。(資料：厚生省援護局説参照 葛西充男氏)



H30.11.27 大穴七勇碑 77 回忌清掃奉仕参加者の集合写真 左から河野、長内、桜井、数藤、羽田、日下、佐野、丸山、門脇、木村



H30.11.27 大穴七勇碑 77 回忌法要に佐藤正雄氏から黄、白大輪菊、八千代市募集相談員桜井克巳氏から 両端に桃色小菊が献花



H30.11.27 大穴七勇碑 77 回忌清掃奉仕と法要を終え、車座懇談